**様式３．事業計画書（課題実行団体用）　※文字の大きさは10pt～10.5ptを使用してください。**

**■基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| チームの事業名 |  |
| 貴団体の事業名 |  |
| 団体名 |  |
| テーマの選択☑を入れてください | □虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、自殺など子ども・若者が抱える深刻な課題への支援□日本社会における在留外国人が抱える課題解決への支援と多文化共生□過疎地域におけるコミュニティの維持と環境保全 |
| 貴団体の事業について、３領域の区分と、優先すべき社会の諸課題の種別☑を入れてください（複数可） | １）子ども及び若者の支援に係る活動□①経済的困窮など､家庭内に課題を抱える子どもの支援□②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援□③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援２）日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動□④働くことが困難な人への支援□⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援３）地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動□⑥地域の働く場づくりの支援□⑦安心･安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 |

**１．解決したい社会的課題、達成目標、協働・連携の意義**

**1.1　解決したい社会的課題と達成目標**

|  |
| --- |
| 1.1.1　　申請する事業によって解決したい社会的課題と、課題の当事者（現場）の現状をどのように認識しているかを記述してください。 |
|  |
| 1.1.2　1.1.1で記述した課題を生じさせている原因分析と、その解決策の方向性について記述してください。 |
|  |
| 1.1.3　1.1.1に記述した課題について、中長期的な達成目標を記述してください。現状の打開、或いは、あるべき将来の姿を想定した達成目標を設定してください。（「中長期的」の時間軸は自由としますが、何年位先を構想しているかがわかるように書いてください） |
|  |
| 1.1.4　中長期的な達成目標に向けた、短期的な達成目標（申請事業終了時（３年後）に、どんな状態を達成するのか）を記述してください。達成状況を説明する指標（定量的・定性的いずれも可）を示し、できるだけ具体的に記述してください。 |
|  |
| 1.1.5　申請事業終了時の事業の持続性について、展望を記述してください。人材確保、財政確保、政策提言・行政制度化、あるいはビジネス化など、可能な範囲で具体的に書いてください。 |
|  |

**1.2　達成目標に向けて協働・連携して取り組む有効性**

|  |
| --- |
| 1.2　1.1.4の達成に向けて、協働・連携して取り組む重要性・有効性について、記述してください。 |
|  |

※枠の幅の変更は可能ですが、基本情報～１を３頁以内（または程度）に収めてください。

**２．事業成果目標、事業内容、協働・連携の進め方**

**２.１ 事業成果目標と事業内容**

|  |
| --- |
| 2.1　１年目～３年目に、貴団体が行う事業内容と、各々の「達成目標」「成果目標」を記述してください。その際、公募要領P.7のシナリオの課題実行団体の部分を参考に、３年間でステップを踏んで取り組みが進むことを意識して書いてください。 |
| **【１年目の事業】** |
| **（1）１年目の事業内容****（2）年間の事業の流れ**：当該年度の主な活動を記載し、矢印等で時期を記してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主な活動項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 |
| **【１年目の事業の「達成目標」と「成果目標】**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の達成目標　（アウトプット＝事業の実施により生み出された「結果」） | 事業の成果目標　（アウトカム＝アウトプットがもたらす「便益」や「変化」） |
|  |  |

 |

|  |
| --- |
| **【２年目の事業】** |
| **（1）２年目の事業内容****（2）年間の事業の流れ**：当該年度の主な活動を記載し、矢印等で時期を記してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主な活動項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 |
| **【２年目の事業の「達成目標」と「成果目標】**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の達成目標　（アウトプット＝事業の実施により生み出された「結果」） | 事業の成果目標　（アウトカム＝アウトプットがもたらす「便益」や「変化」） |
|  |  |

 |

|  |
| --- |
| **【３年目の事業】** |
| **（1）３年目の事業内容****（2）年間の事業の流れ**：当該年度の主な活動を記載し、矢印等で時期を記してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主な活動項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 |
| **【３年目の事業の「達成目標」と「成果目標】**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の達成目標　（アウトプット＝事業の実施により生み出された「結果」） | 事業の成果目標　（アウトカム＝アウトプットがもたらす「便益」や「変化」） |
|  |  |

 |

**2.2 協働・連携の進め方**

|  |
| --- |
| 2.2.1　2.1の事業を実施するにあたって、協力団体・専門家・企業・行政等、多様な関係者と、現時点でどの程度認識の共有をしていますか。また、今後、どのような対話を行い、どんな連携・協働の関係を構築していくのかを記述してください。 |
|  |
| 2.2.2　この事業で取り組む内容を、チーム（協議体）でどう共有し、チームで活用できる知見・ノウハウにしていくのかを記述してください。(1)自団体がチームでどんな役割を果たすのか、(2)チームの知見・ノウハウを自団体がどう活かすのか、を書いてください。 |
|  |

※枠の幅の変更は可能ですが、２を５頁以内（または程度）に収めてください。

**３．社会的インパクト評価の実施時期および評価の方法等について**

本助成プログラムでは、事業サイクルの４つの場面（下表）で、社会的インパクト評価を行っていきます。社会的インパクト評価は、実行団体自身が行うことを基本としますが、CRCDF、JANPIA、及びコーディネート団体による伴走支援も状況に応じて行います。以上を前提として記述してください。

「社会的インパクト評価」の詳細説明は、JANPIAのWEBサイトに掲載された「資金分配団体・実行団体に向けての評価指針」p.6～にあります。URL　https://www.janpia.or.jp/hyouka/index.html

|  |
| --- |
| 3.１　事業の評価を行っていく際に、各場面でどのように評価に取り組むのか記述してください。 |
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **評価のねらい** | **評価対象** | **評価指標** | **評価方法** |
| 【事前評価】事業前に事業の必要性・妥当性を判断する（ニーズを確認する） |  |  |  |
| 【中間評価】進捗状況と予算・人材・方法など見直しの検討を行う（プロセス、実行体制を見直す） |  |  |  |
| 【事後評価】事業の成果の達成状況や事業の妥当性を検証を行う（事業の対象者の変化等を調べる） |  |  |  |
| 【追跡評価】成果や副次的効果や波及効果、過去の評価との比較検証を行う（事業の成果を全体的な視野から点検する） |  |  |  |

 |
| 3.2 これまで事業評価を実施したことがありますか。ある場合は、評価のねらい・評価方法・結果について、記述してください。 |
|  |

※枠の幅の変更は可能ですが、３は２頁以内（または程度）に収めてください。

**４．進捗管理・リスク管理**

本助成プログラムでは、事業開始から終了まで、6か月毎に（「上半期＝4月～9月」「下半期＝10月～3月」）進捗管理と自己評価を行い、その内容をCRCDF、JANPIAに報告していただきます。

|  |
| --- |
| **4.1　進捗管理**（１）平時の事業の進捗管理体制、(2)６か月毎に進捗管理・自己評価を行う時の体制について、誰が（どんな機関が）どんな方法で行うのかを記述してください。 |
|  |
| **4.2　リスク管理**　事業実施上で想定できる重要なリスクについて２、３挙げ、誰が、どのように管理・対応するかを記述してください。（リスク例：「事業実施の体制が整わない」「自己資金・民間資金が集まらない」「事業の対象者との間にトラブルが生じた」等） |
|  |

**５．実施体制と組織基盤強化**

|  |
| --- |
| 5.1　事業の実施体制（特に事業マネジメントに関わる部分）を記述してください。また、事業責任者・主要従事者については、氏名と経験・専門を簡潔に記してください。それ以外に、主要な役割を担う外部協力者がいれば、同じく氏名と経験・専門を記してください。 |
|  |
| 5.２　申請事業に取り組む組織基盤をどのように強化したいと考えますか。事業に取り組む上で直面する組織的な課題は何か、それが事業を通してどう改善・強化することを目指すのかをわかりやすく書いてください。 |
|  |

**６．広報戦略、波及効果**

|  |
| --- |
| 6.1　活動内容の認知、成果の普及、説明責任を果たすために、地域・社会や事業の関係者に対して広報にどう取り組むのか、具体的に記述してください。（伝える内容・ねらい、対象、広報手段、時期・タイミング、期待される効果等） |
|  |
| 6-2　事業から得られた学びについて、どのように情報発信や政策提言等に取り組み、組織・地域・分野を超えて共有し、課題解決への波及効果を生むのかを記述してください。 |
|  |

**７．関連する主な実績**

|  |
| --- |
| ７　申請事業に活用できる知見・ノウハウを示す主な実績について、事業名・事業内容・成果を簡潔に記述してください。（主要なものを３つまで） |
|  |

※枠の幅の変更は可能ですが、４～７で３頁以内（または程度）に収めてください。

※「■基本情報」～「７関連する主な実績」を14頁以内に収めてください。